

## 3/21~31 手作りニットの魅力を発信 ウイメンズネットあみもの展

ウイメンズネットワーク洞爺湖の「あみもの展」が、役場町民ロビーで開かれました。

外出する機会が減る冬場を利用して活動しており、今回の展示では手編みのカーディガンやセーターなど衣服65点、帽子や靴下などの小物50点が披露されました。毛糸などで編まれた服はどれも親しみやすいデザインで、来場者は丁寧な手仕事に感心していました。ウトウラノで12月から活動を再開します。



様々な作品が並んだあみもの展

## 3/22 木の温もりを感じて 保育所に木製椅子寄贈

町は、森林整備のために国が自治体に交付している森林環境譲与税を活用して作った木製の椅子を町内の保育所3カ所に寄贈しました。

町では、令和4、5年度に「木の玉プール」を保育所に贈呈するなど同事業を活用した木育に取り組んでおり、今回は椅子40脚を製作しました。

贈呈式は入江保育所で行われ、子どもたちはさっそく椅子に座って木の温もりを感じていました。



寄贈された椅子に座る子どもたち

## 4/18 町のにぎわいづくりに連携 時之栖と協定締結

町は、ホテル・レストラン（静岡県）と「観光・産業振興等に関する連携協定」を締結しました。

同社は、洞爺湖温泉のイルミネーショントンネルの機材を町に寄贈しています。協定締結で、同社施設で町産食材を活用して食の魅力を周知することなどを検討しています。旧虻田町出身の庄司政史社長は「町にできることを議論しながら実のある取組をしたいです」と話しました。



協定を結んだ庄司社長（左）

## 3/28 ふるさと納税で町に貢献 トヨタレンタリースが寄付金

トヨタレンタリース札幌は、企業版ふるさと納税を活用して町に500万円を寄付しました。

同社は、洞爺湖温泉でカーシェアリング事業を展開しており、町への寄付は初めて。寄付金はJR洞爺駅でのデジタルサインエージの設置や、外来生物の駆除などに活用する予定です。

役場で行われた贈呈式で相茶省三社長は「自然との共生に貢献できればと思います」と話しました。



目録を贈った相茶社長（左）